市民社会によるアドボカシー活動と協働の課題～「ほっとけない 世界のまずしさ」キャンペーンの経験をもとに

2006年9月24日

ＣＳＯネットワーク共同事業責任者
「ほっとけない 世界のまずしさ」
常務理事

今田　克司

GCAP (Global Call to Action against Poverty) と 「ほっとけない 世界のまずしさ」

ほっとけない 世界のまずしさ

* * *

www.hottokenai.jp

２０００年 国連ミレニアム･サミット

世界の貧困問題を解消する具体的な指標とタイムテーブル

||

ミレニアム開発目標（ＭＤＧｓ）

「２０１５年までに貧困を半減させる」

ところが

このままでは目標が守られない

という危機感

ほっとけない 世界のとすしさ

＊ ＊ ＊

www.hottokenai.jp

→ 途上国市民社会から先進国市民社会への協働の「呼びかけ」（Global Call）

→ 世界の市民社会、「約束を守らせる」運動を２００５年に企画

→ ヨハネスブルグ宣言に集約（２００４年９月）

ほっとけない 世界のとすしさ

＊ ＊ ＊

www.hottokenai.jp

●なぜ２００５年？

貧困問題を優先課題にさせ、
政策上の具体的な前進を勝ち取る機会

①7月 G8 GLENEAGLES 2005

②9月 UN GENERAL ASSEMBLY 60 2005 World Summit

③12月 WTO OMC HONG KONG 05

ほっとけない 世界のことしさ
＊ ＊ ＊
www.hottokenai.jp

●ＧＣＡＰ結成

Global Call to Action against Poverty
世界の市民社会によるキャンペーン

連帯のシンボルとしてのホワイトバンド

ほっとけない 世界のことしさ
＊ ＊ ＊
www.hottokenai.jp

MAKEPOVERTYHISTORY
POVERTY

www.live8live.com
CANADA FRANCE GERMANY
LIVE
8
WE DON'T WANT YOUR MONEY

●アドボカシーであるＧＣＡＰ

貧困を解消するアプローチ

①直接支援
（プロジェクト実施型支援）

②アドボカシー
「貧困を生み出すしくみ」を変える

●広範な層の市民をまき込み、声をあげる
●精査に耐えうる政策の代案を提示する

↓

**貧困をなくす政策を
みんなで選択する**

ほっとけない 世界のこずしさ
＊ ＊ ＊
www.hottokenai.jp

●政策によってつくられる貧困

先進国の政策がカベに

貿易ルール、債務、不十分で不適切な援助など

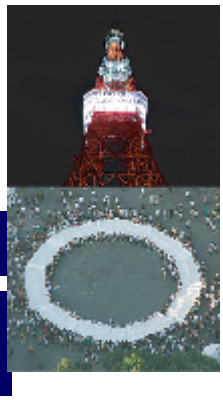
アドボカシーの力によってこれを
変えるのがGCAP&「ほっとけない」

ほっとけない 世界のビンボー
www.hottokenai.jp

●「ほっとけない」の成果

日本社会での大きな反響

460万本売れたホワイトバンド



- **手軽に参加できる意志表示**
- **アーティストや芸能人の参加により目立つキャンペーンに**
- **世界の貧困について考えるきっかけに**

ほっとけない 世界のビンボー
www.hottokenai.jp

新聞広告第1弾

Live8コンサート

新聞広告第2弾

東京タワーライトアップ

ホワイトバンドデー2　芝公園に3500人

ほっとけない10DAYS~全国40か所以上でのイベント開催

QuickTimeý Ç²
GIF ëLíÉÉvÉçÉOÉâÉÄ
Ç™Ç±ÇÃÉsÉNÉ`ÉÉÇ¾â©ÇÉÇ…ÇÕïKóvÇ-ÇÍÅB

よさこい創作集団-TASTeは、力強い踊りを披露。 Yosakoi RAVE 2005 in 東京

「世界がもし100人の村だったら」ワークショップ

ライブイベント in 徳島　高校生たちが司会進行。「今だけで終わらないように」と発信

海外支援や環境問題に取り組む「元気の種」主催で当日ホワイトBANDが結成。

「ほっとけない響　世界のまずしさ」In 香川

●「ほっとけない」の成果

すでに政策上のいくつかの成果

● 今後５年間でＯＤＡ１００億ドル増額。

● 最貧国18カ国の債務免除。日本も応分の負担を　（7000億円以上）。

●総選挙直後、0泊2日の強行日程で小泉首相が国連サミットに出席。「貧困に苦しむ人々を支援するために、日本を含む先進国が約束を果たし行動することが、よりよい世界を作る基礎となる」と述べる。

ほっとけない 世界のビンボー
www.hottokenai.jp

● 2006年以降のGCAPと「ほっとけない」

- 2月GCAPアジア会議（バンコク）
- 3月GCAP世界会議（ベイルート）
  → GCAP の継続が決定「ベイルート宣言」
- 「ほっとけない」新体制へ（8月）
  →ＮＰＯ法人化へ
  →市民による政策づくりの強化
  → 460万人への広がりを大切に
  → 十分な説明責任を果たしながら
  → アドボカシー活動の日本における定着をめざして
- 2008年、日本がＧ８サミット議長国

ほっとけない 世界のビンボー
www.hottokenai.jp

GCAP ＆「ほっとけない」
と
協働の課題

ほっとけない 世界のまずしさ

＊　＊　＊

www.hottokenai.jp

● 従来のNGOキャンペーンとの違い

- シングルイシューでなく、「貧困」とのまっこうからの取り組み
- NGOの枠を超えた「市民社会」への広がり
  ＝教育、青少年育成、地縁団体等
  ＝宗教者団体、労働組合
- 企業（特にコミュニケーション・セクター）とのタイアップ

ほっとけない 世界のまずしさ

＊　＊　＊

www.hottokenai.jp

● 違うゆえの課題

- 「貧困」とのまっこうからの取り組み
  →NGO間の政策要求のすりあわせの難しさ
  →政府との共通認識（MDGs達成！）の確認、アプローチの違いの尊重

- 「市民社会」への広がり
  →連携の意義の認識、仕組みの構築

- 企業とのタイアップ
  →文化の違いの克服、役割分担の明確化
  →金銭の扱い

ほっとけない 世界のことしよ
www.hottokenai.jp

● 「協働」の鍵

相手を尊重する

- 対等なパートナーとして
- 自分が持っていないものを持っている相手として

共通の目的 貧困の撲滅、MDG達成 サステナブル社会の実現	ミッションの違い 文化の違い 意思決定の仕組みの違い

Agree to disagree（和して同せず）

ほっとけない 世界のことしよ
www.hottokenai.jp

国連ミレニアム・キャンペーン企画による
10/15-16 STAND UP
↓
世界各国のGCAP母体が実施
↓
日本では
主催：「ほっとけない　世界のまずしさ」
後援：外務省、国連開発計画（UNDP）、
国連児童基金（UNICEF）

自己紹介

今田　克司（いまた・かつじ）

1986　大学卒業。国内で大学院へ。
1991　UCバークレーに大学院留学。公共政策を学ぶ。
1993　修士。サンフランシスコ・ベイ・エリアに残ってNPO活動を始める。
1994　地元のNPOに就職、事務局長。日本からやってくる数多くのNPO視察をお世話する。
1996　日米コミュニティ・エクスチェンジ（JUCEE）を創設し、事務局長。日米NPOインターンシップ・プログラムを立ち上げる。
2000　帰国。CSO連絡会事務局長とJUCEEの代表/CEOを兼任。この間、日米のNPOセクター、NPOマネジメントに関する講演・ワークショップ等を多くこなす。
2004　CSOネットワーク共同事業責任者。国際NGOの役割に関する委託調査、研究など。
2005　「ほっとけない　世界のまずしさ」キャンペーン事務局長